



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2018年6月30日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆

古代、文字の読み書きはエリートの証？

エジプトのヒエログリフ、インダス文明の楔形(くさびがた)文字、中国の甲骨(こうこつ)文字など、世界各地で発明された「文字」は文明の発展に不可欠でした。

なぜなら、それまでの口伝(くでん)という個人の記憶にたよる曖昧さから脱却し、文字で記すことにより誰でも客観的な情報が時間・空間を超えて共有可能となったからです。

文字による記録は人や家畜、物資などの管理・輸送を容易にし、報告・命令における正確な意志の伝達なども可能としたのです。

日本における最古の文字資料については諸説ありますが、全国的に文字が普及するのは奈良・平安時代などの古代からです。

金属製の骨壺や墓誌、石碑などに文字を刻んだ金石文は少なく、土器に所属先などを記した「墨書(ぼくしょ)土器」、役所に荷物を送る際の荷札である「木簡(もっかん)」などが遺跡から多数出土します。

なかには不用になった公文書を再利用し、漆を接着剤としてカゴなどに重ね張りした結果文書が保存され、X線を照射することで解読される「漆紙文書(うるしがみもんじょ)」などもあります。

文字の読み書きは学習方法が高度に整備された現代においても相当の時間と努力が必要です。

それでは、古代の文字は誰が書いていたのでしょうか。

優雅に歌を詠んでいた貴族達はいうまでもありませんが、木簡や漆紙文書の内容からみて、そのほとんどは公文書などを作成していた公務員、すなわち都・地方を問わず役人が書いていたと考えられます。

つまり古代においては、文字が書ける＝エリート＝役人であったこととなります。

ただし、彼ら役人をはるかに超えるスーパーエリートも存在していました。

それは僧侶です。

経典の読み書きは無論のこと、古代の僧侶は医学・薬学、土木・農業技術、教育・芸術など多方面に精通した豊富な知識と経験を有していたことから、各地で重用されていたのです。横須賀市内で確認されている古代の文字関連資料は極めて少ないのですが、そのなかで津久井大町谷東（おおまちやひがし）遺跡から出土した平安時代中期頃の須恵器円面硯（すえきえんめんけん）が注目されます。

硯（すずり）は墨で文字を書くためだけに使われる道具ですから、この時期津久井浜にはこの硯を使って文字を書いていた役人あるいは僧侶がいた、すなわち役所か寺院が存在していた可能性が高いこととなります。

同じ遺跡内の法蔵院付近からは「・蔵寺」と書かれた墨書土器が出土しています。

津久井浜に住まいした古代の僧侶がこの円面硯を使って、土器に「・蔵寺」と書いたのでしょうか。

（考古学担当：稲村）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/26018>

◆ 展示情報 ◆

特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」

2018年7月28日（土）～2018年11月4日（日）

私たちの暮らす三浦半島には数多くの多様な昆虫たちが生息しています。

コレだけは押さえておきたい基本の昆虫たちを標本や写真で紹介します。

なかでも危険な生物としてその姿や暮らしをじっくり観察することができないスズメバチについて、展示や模型を通じて分かりやすく学べます。

【おもなみどころ】

☆迫力！オオスズメバチの頭部模型

直径約1mのオオスズメバチの頭部模型を通じて、生体での観察が難しいスズメバチ類の頭部の形が立体的に把握できる展示

☆体感！オオスズメバチの育房

「育房（いくぼう）」とはスズメバチ類の巣の中で幼虫が育つ個室。来館者が「もしもスズメバチの幼虫だったら」を体験できる大型の「育房」を再現

☆全部知ってる！？身近な昆虫 500 種

標本による実物展示

☆スズメバチ類の巣などさわって体験できる展示

さわれる展示コーナーを設置

【展示解説書】

『身近な昆虫 365』

身近な昆虫を季節とともに紹介。

地域の昆虫図鑑としてもご活用ください。

7/28（土）発売予定

詳しくは博物館受付まで

【関連行事】

☆展示解説

7月28日（土）、9月16日（日）、10月28日（日）

いずれも 14：00～15：00

本館特別展示室 参加自由

展示の内容をわかりやすく解説します。

☆ワークショップ

8月11日（土・祝）

14:00～16:00

本館特別展示室、講堂 参加自由

スズメバチの生態や三浦半島の身近な昆虫についての解説を聞いた後、スズメバチ類の標本制作の一部が体験できます。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25315>

トピックス展示「明治時代の横須賀を語る写真と文書—明治 150 周年記念—」

2018 年 8 月 19 日（日）まで

本年は、明治時代が始まってから 150 年目にあたります。

明治時代に撮影された横須賀の写真や明治時代に記された横須賀の資料の一部を展示しま

す。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25938>

トピックス展示「カブトムシを調べよう」

2018年7月14日（土）～2018年8月26日（日）

海外のカブトムシやクワガタムシなどの甲虫類を展示するほか、博物館で実施しているカブトムシの調査についても紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26032>

◆イベント情報 ◆

天神島ガイドツアー（7月）

2018年7月22日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25395>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>